

一般社団法人いんくるぱれっと こどもでいさーびす にじいろ 児童発達支援評価表 令和元年度 事業所における自己評価の結果(公表)

公表:令和2年 3月 31日

事業所名:こどもでいさーびす にじいろ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9 (69%)	2 (15%)	活動無いようによっては、座位保持椅子やテーブルを片付けて活動空間を確保する。
	2	職員の配置数は適切であるか	11 (85%)	0 (0%)	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10 (77%)	1 (8%)	利用者のそれぞれの特性を考慮し、段差をなくす工夫をしたり、トイレの通路ドアに鍵を取り付けるなど安全を確保している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11 (85%)	1 (8%)	清掃マニュアルを作成している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10 (77%)	1 (8%)	申し送りノートを活用して情報の共有をしている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12 (92%)	0 (0%)	実施予定
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8 (62%)	4 (31%)	実施予定
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3 (23%)	6 (46%)	実施予定
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8 (62%)	3 (23%)	感覚統合の研修、食事、嚥下についての研修、合理的配慮についての研修など、受けたものはミーティングなどで共有するようにしている

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	11 (85%)	0 (0%)	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6 (46%)	1 (8%)	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9 (69%)	0 (0%)	スタッフミーティングで支援計画の見直しを行なっている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13 (100%)	0 (0%)	
	14	活動プログラムの立案をチームで行なっているか	9 (69%)	3 (23%)	室内活動をテーマを決めて組み立てていく予定。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12 (92%)	1 (8%)	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	10 (77%)	0 (0%)	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8 (62%)	3 (23%)	常勤スタッフを中心に具体的な支援活動やスタッフの役割等を確認しあい、他のスタッフに伝えていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9 (69%)	2 (15%)	「いいこと会」を行い、その日の活動を振り返り、共有をおこなっている。記録としても残している。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10 (77%)	2 (15%)	連絡張りで保護者の方に確認していただいている。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9 (69%)	2 (15%)		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10 (77%)	0 (0%)	事業所連絡会には管理者が出席している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	11 (85%)	1 (8%)	市の保健師等と連絡をとり、受け入れを行ったり、対応している。
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	11 (85%)	1 (8%)	ご要望があれば対応したい。
	24	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	10 (77%)	1 (8%)	主治医から指示書をいただき、連絡先を確認している。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11 (85%)	1 (8%)	保育園と情報を共有している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11 (85%)	1 (8%)	特別支援学校には情報提供し、相互理解を図っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7 (54%)	3 (23%)	
	28	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動をする機会があるか	8 (62%)	3 (23%)	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2 (15%)	6 (46%)	機会があれば参加したい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	13 (100%)	0 (0%)	送迎時にその日の様子等を伝える時間をとり、連絡張でも活動内容や状況を伝えている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5 (38%)	6 (46%)	保護者のニーズを探っていきたい。	

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10 (77%)	0 (0%)	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10 (77%)	0 (0%)	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	13 (100%)	0 (0%)	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	13 (100%)	0 (0%)	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13 (100%)	0 (0%)	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	13 (100%)	0 (0%)	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	13 (100%)	0 (0%)	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13 (100%)	0 (0%)	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4 (31%)	6 (46%)	月2回定期的に紙芝居のボランティアさんとの交流がある。その他にもどのような交流の方法があるのか探って行きたい。

非常時の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	12 (92%)	1 (8%)	月2回避難訓練を行なっているが、防犯については課題もあり、訓練を重ねていく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12 (92%)	1 (8%)	毎月1日15日を訓練の日としている。
	43	事前に、予防接種やてんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	10 (77%)	2 (15%)	緊急時対応シートを作成し、保護者とも発作などの対応の確認を定期的に行なう。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	11 (85%)	2 (15%)	昼食、おやつとも家庭からの持参品であり、利用開始前に聞き取りもしている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11 (85%)	1 (8%)	ミーティングで必ず共有し、記録としても確認できるようにしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8 (62%)	3 (23%)	ミーティングで研修をおこなっている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9 (69%)	3 (23%)	身体拘束は行なわないことを前提としているが、可能性も考えて対応していく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。